

第2回白井市立桜台小学校・桜台中学校給食のあり方検討委員会会議録

○会議日程

令和3年3月26日（金）

白井市役所東庁舎★301・303★会議室

1. 開会
2. 本日の日程について
3. 給食センター見学
4. 桜台調理場見学（小学校・中学校）
5. 前回の質問に対する回答
6. 議事
桜台小中学校の給食のあり方について意見調査の方法について
7. その他
8. 閉会

○出席委員等

委員	渡邊	智子
委員	大塚	成男
委員	田谷	徹郎
委員	近藤	健司
委員	阪野	雄
委員	永田	浩之
委員	小野	義勝
委員	當瀬	徳隆
委員	久保	利枝

○欠席委員等

委員	廣田	桂子
----	----	----

○出席職員

教育部長	鈴木	直人
教育部参事	和地	滋巳
教育総務課長	板橋	章
給食センター長	平井	努
教育支援課主幹	堀江	真由美

午後3時45分 開会

○事務局 それでは、よろしいでしょうか。

お時間になりましたので、ただいまより第2回白井市立桜台小学校・桜台中学校給食のあり方検討委員会の議事に入らせていただきます。本日のこの検討委員会は、検討委員10名のうち9名の委員の

皆様に出席いただいております。白井市附属機関条例第6条の2の規定により、過半数が出席されておりますので、本日のこの委員会が成立することを申し上げ、始めさせていただきます。

初めに、会議の前に、前回御質問いただいたことに関しまして回答させていただきたいと思っております。

前回、全部で5点出されたのですが、まず食育について、学校でどのような取組をしているのか、資料で比較できるようにしてほしい。市には子育てしたくなるようなプロジェクトがあるのか。桜台小中を給食センターに統合した場合、2,000万円コストがアップする内訳を教えてくださいというような、まず3点ございましたが、これらの3点につきましては、次回の会議で説明させていただきます。

次に、桜台調理場の調理員の内訳はどうなっているかという御質問についてですが、桜台小学校は9名の調理員さんがいらっしゃいます。そのうち男性1名、女性8名です。世代別で言いますと、30代1名、40代3名、50代5名です。桜台中学校は8名で、全て女性です。世代別で言いますと、40代3名、50代4名、60代1名となっています。内訳については、個人情報保護の関係から、ここまでとさせていただきますので、御了承いただければと思います。

そして、今後の桜台調理場をどうするか、調理員さんの意見を聞きたいといった御質問につきまして、桜台小中学校の調理員さんにつきましては、意見を聞くことは可能ということです。ただ、勤務がありますので、どのような形で何を聞くのか、また、その必要性を検討する必要があります。給食センターにつきましては、総括責任者が対応可能ということです。以上です。

次に、議事に入らせていただきますので、この後の進行を田谷委員長にお願いいたします。

○委員長 委員長の田谷でございます。

委員の皆様方には、現地の視察、大変お疲れさまでございました。これより6の桜台小中学校の給食のあり方について意見調査の方法についての議事に入りたいと思っております。事前に事務局より資料が配付されていたかと思っておりますので、そちらに沿って議事を進めさせていただきます。御協力をよろしく申し上げます。

それでは、事務局より説明をお願いします。

○事務局 では、事務局より、意見調査の方法について説明させていただきます。お手元の資料を御覧いただければと思います。

まず方法についてですが、1、アンケート用紙の配布、2、アンケート用紙配布と聞き取り、3、聞き取りの三つの方法を考えています。

次に、対象についてですが、桜台小中学校保護者を対象とするもの、桜台小学校保護者に加え、桜台中学校区以外の保護者を対象とするもの、保護者を問わず広く市民を対象とするものを考えています。ほかに、こうした方を対象にしたほうがいいのかという案がございましたら、御意見を頂ければと思います。

続いて、内容についてですが、保護者負担の給食費、公費での児童生徒1人当たりの経費負担額、給食の残渣率、食育などについて、自校式とセンター式を提示し意見を聞くといったものです。内容項目で追加したほうがいいのかあれば、御意見を申し上げます。

最後に、時期についてです。次回、第3回目の会議の際に調査内容を御提示し、皆様の承認を受けて、7月に実施したいと考えています。結果については、第4回の検討委員会でお知らせいたします。以上です。

○委員長 ありがとうございます。

ただいまアンケートの方法、対象、内容、時期についての事務局の説明がございました。それぞれ密接に関連するものなので、一括ということも考えられますが、議論を整理するために、それぞれの項目ごとにまず御意見を頂きたいなと思っております。

まず意見調査の方法ですが、アンケート用紙の配布と、それからアンケート用紙の配布に聞き取りを加えるもの、さらに、聞き取りだけといいますか、聞き取りを行うものというふうに3案が示されましたけれども、これについて、御意見等あればお願いいたします。

はい、どうぞ。

○委員 アンケートですが、このあり方検討委員会をやる前に、桜台小中では結構アンケートを取ってきたのですけれども、桜台小中はアンケートは要らないかなというふうに思ったのですけれども。アンケート結果が戻ってきているので、それを桜台のほうでまとめて皆さんに提示できるかなと思うのですけれども、その辺はいかがですか。

○委員長 ちょっと確認なのですが、それは、例えば市全体のアンケートをやることが前提でという意味。それとも、桜台地区しかアンケートをやらない。それは次の対象に関わってくるものなので、ちょっと区分は難しいと思うのですけれども。その辺は一緒になっても結構ですので、その辺の考え方があれば。

○委員 桜台小中学校の給食のあり方なので、ほかの学区のところを聞いても、分かるのかなというか。前提が。

○委員 前提がなくなっちゃう。

○委員 要らなくなっちゃうでしょう。

○委員 だから、必要あるのかなというのが、ちょっと、はてなが浮かんじゃったので。

○委員長 すみません。桜台地区が何回かアンケートをなさっているというのは、これは市のほうでなさったのですか。

○委員 保護者のほうで、PTAのほうです。

○委員長 PTAのほうで行ったアンケートですよ。

○委員 はい。

○委員長 それはそれで、恐らくアンケートの結果を取りまとめられてあるのだと思いますけれども、今回、検討委員会を市で立ち上げて、こういったメンバーで、調査をして意見を聞きながら方向性を決めましょうといったときに、桜台地区については、保護者、PTAのほうでアンケートを取って結果が出ているのだから、それでというのは、ちょっと。参考として、例えば桜台地区の皆さんが、我々のアンケートの結果ではこういうことが出ていますけれどもということで、参考意見としてこの場で言うていただくのは結構かと思っておりますけれども、それをもって、市なりこの委員会なりが行ったアンケートに代えるというのは、ちょっとつらいかなと私は個人的には聞いていて思ったのですけれども。御意見は御意見として承りますけれども。

○委員 分かりました。

○委員長 そのほかにいかがでしょうか。

○委員 よろしいですか。

○委員長 はい、どうぞ。

○委員 アンケート方法でというところの議論なのですけれども、ただ、内容的には全部関係するという事なので、また、今、桜台小中学校のことなので、ほかのところの方の意見を聞くのはという御意見が出たのですが、それに対して、この場で私としての意見を申し上げれば、私自身ここに参加させていただくのは、市の財政という視点が必要だからということであると理解しています。そういうことを考えれば、今回はこの問題というのは、決して桜台小中学校だけの問題ではないのです。結局、市全体として考えなければいけないことである以上は、当然、桜台以外の方々の意見も必要になってくる。

ただし、その意見をどう集めるかが、今回頂いた資料ではよく分からないのです。結局、後のほうの話になってしまっているのですけれども。調査項目が、具体的に給食費が幾らかかっているとかということであれば、これは別にアンケートという形ではなくて、調べればいいことです。もし、それがアンケートの中で、自校方式をやるかやらないかという意見募集をするということだとすると、実はその調査をする前の段階で、どういう情報というか、何を知ってもらった上で調査をするのかをしっかりと回答者にわかっていたかかないと、単なる希望調査になってしまう。当然、これは桜台の方とそれ以外の方では視点も違って来るし、共通の基盤での回答にならない。市民の方を入れるといっても、関心がない方に聞いても、答えは出てこない。でも、さっき言ったように、全体としてはやっぱり市全体の問題になってくるのですね。

ですから、どういう意見として申し上げていいのか、私も整理し切れないのですけれども、今回の意見調査の目的、意図みたいなどころをもう少しはっきりさせていただきたい。事実調査としてやるのか、あるいは、ここに書いてあるように意見調査だとすれば、現状を維持するのか、変えるのかという希望調査をするのか。ただ、希望調査をするとなれば、その希望の前提となる上で提供すべき情報をしっかりと整理しておかないと。私は財政の分野なのですけれども、市の財政といっても、打ち出の小づちじゃないのですね。ですから、希望は全て通るということではないわけで。そういうことも含めて情報提供した上で調査をしないと、それがまた意見として、これが多いからということで、その意見でやらなきゃいけないという形になってしまうと、ちょっと問題があるのかなと。

ごめんなさい。長くなっちゃいましたけれども、これ、また機会を見つけて私からもお話しさせていただきたいと思うのですけれども、実は白井市って財政的に厳しいのですよ、今。いろいろ数字も出ているのですけれども、借金しないとお金を賄えない状態に既になっているわけで。そういうところも分かった上で、例えば財政の視点からすれば、答えを出してもらう必要がある。

それは、さっき言ったように、お金がないという観点からすると、決して桜台だけの話じゃなくて、桜台の給食の自校方式を続けることに伴って、お金がかかる部分をほかでお金が使えなくなるので、それを承知の上で、やりますかという聞き方をさせていただく必要があるわけで、そういった資料の整理ということも必要になってくるのかなと。

そういう意味で、この意見調査、今回頂いた資料だけ見ると、内容的に非常にはっきりしなくて、一体何を調べて、どう使いたいのかなと。そこが分からないと、やっぱり方法にしても、対象にしても、内容にしても、少し決め切れないのかなというような気がします。ちょっと長くなってしまいましたけれども。

○委員長 ありがとうございます。

今、委員のほうからお話があった内容、多分、ここに書かれている素案ということでありませ

ども、ちょっと漠然とし過ぎている部分があって、何のためにどのような項目の調査をするのかというのが、この3番目の内容というところだけ見ると、ちょっと分かりにくいという、恐らくそういうことなのだと思います。

先ほど、1、2、3、4分けてというふうに申しあげましたけれども、ちょっと議論がしにくくなりますので、一応1から4、調査時期については、後ほどということにしようかと思いますが、1から3くらいをまとめて御意見があれば出していただきたいと思います。

はい。

○事務局 事務局からちょっと補足をさせていただきたいと思います。

アンケートについて、確かにこの素案だと、お示しするにはちょっと乱暴だなというのは、申し訳ございませんでした。

今、委員から御指摘いただきましたように、こちらのアンケートの目的、意図というところですが、意見調査なのか、希望調査なのかということもありました。こちらについては、桜台地区の給食のあり方検討ではありますが、我々事務局としては、市の立場からしましたら、給食提供にはやはり費用がかかり、税金を使わせていただいているということ、保護者の方から給食費という形で頂いているということから、市全体に関わるということの視点をまずもっております。そのためには、そこには保護者負担の給食費、公費での児童生徒1人当たりの経費負担額というふうに乱暴に示してしまいましたが、費用に関わるということの視点で、一つアンケートをとりたい

○委員 情報なのですか。

○事務局 そうです。

○委員 情報を示したいのですか。

○事務局 3番はそうです。

○委員 要は、アンケートの前提の情報なのですか。

○事務局 そうです。3番については、そういう視点の中で、市の状況を前提条件として示して、御意見を頂きたいと考えています。

もう一つは、自校式、センター式と白井の中には二つの方式があり、そういう二つの方式の給食があるということすら御存じない方もいらっしゃるかもしれませんので、こういう機会に伝えていくことを考えています。白井市の現状としてお伝えして、自校式、センター式のメリット、デメリット、ここでは給食の残渣率と食育についてを項目として挙げさせていただきましたが、ほかにも視点があると思いますので、それら示しながら多岐にわたって御意見を頂いて、考える資料にしたいなというふうに思っております。以上です。

○委員長 ありがとうございます。

私どもの第1回の会議のときには、財政面で言いますと、ちょっと古いのですけれども、財政推計の見直しと財政健全化の取組という、平成30年度ですかね、平成30年8月に取りまとめられた資料の説明がありました。今、白井の財政はこういう状況なので、これを前提としてこれから考えていきたいという、たしかそういう説明であったかと思います。

平成30年当時、ちょっと前になりますけれども、恐らく市民の方にもこれを公表されていて、広報紙なんかでも、市の財政ということで発表されていると思います。それから、市の財政について、恐らく広報紙で毎年1回は発表されていると思います。ただ、なかなか読む機会もないし、理解されて

いない人も。白井って結構、東京に近いし、住宅もいっぱいあるのでというように思われている市民の方もいるかもしれない。ですが、先ほど大塚先生もおっしゃって、今事務局のほうからもありましたように、そういった財政面の上の話というのを正確に理解いただいた上で、それから、給食にはこんなやり方がありますよ、今現状こうなっていて、さらに費用面では、給食費、先ほど現場でも話がありましたけれども、給食費としてセンターでは幾ら、桜台では幾ら頂いていますと。あと、問題、課題的なものとか、そういう市民の方が正しく判断できるような材料を、決して誘導というような形にはならないような形で客観的事実として示していただいた上で御意見を頂く。やるとすればですね。今の形でやるとすれば、そういう形になるのかなと聞いていて思いましたけれども、その辺も踏まえて、御意見があればお願いします。

○委員 アンケートのことなのですが、まず、やっぱり現状は教えてもらわないと、アンケートには答えられないし、それから、なぜそういうふうにセンターとしてまとめなきゃいけないかということも書いていただきたいのですけれども。まとめる案がありますと。

例えば、皆さんが心配しているのは、実際に自校式とセンター給食で出来上がったお料理は、どんなふうにならされているのか。例えば、どこどこで、それがそんなに遜色ないというふうには。というのは、昔は各家庭でお料理を作るのは当たり前だったので、今、総菜を買ってくるという方も非常に多くなってきていて、例えば食品成分表も去年の暮れに新しいものになりましたが、総菜がたくさん入るようになった。昔はそういうものを食べる人はすごく少なかったもので、そんなものを載せる必要がなかったのですけれども、もう載せざるを得ない。実際に私、策定する委員になっているのですけれども、そういったところも見せていただいて、それぞれの業者さんが家庭で作ったのと余り変わらないように、全く違わないかということ、家庭では、毎日それぞれのおうちで計量して作っているわけじゃないですから、そのときに作る方が工夫して作っていますけれども、でも、工場的に均一になるように工夫して作っているという現状もあるので、だんだんいろんなものが、昔食べられていたものよりもおいしく変化しているという食品もありますよね。

それから、今日見せていただいた調理器具でも、スチームコンベクションオーブンというのはすごく優秀な調理器具で、何を作っても本当においしい仕上がりになると。ホテルでもレストランでも使っているという器具が学校給食で使われているのですよね。給食センターでも自校でもですけれども。そういったような現状もお知らせする必要もあるし、実際心配なさっているのは、小学校、中学校に栄養士さんがいらっしゃれば、毎日食育をしてもらっているけれども、もし全体そうになったら、各学校にそういった方たちをどのくらい配属する時間を市として用意できるのかということもすごく気になっていると思うのですね。ちゃんとそのあたりの、このところはこうなるけれども、一応、確約ではないけれども、市としては、こういう御提案を考えていますということを書いてくださらないと、やっぱり不安というのはすごくあるんじゃないかと思います。

丸とかバツとかと書くほかに、意見を書いてもいい欄というのが当然あったほうがいいし、その欄からまた分かってくることもあるので、アンケート1回だけで済むかもしれないし、アンケート結果から、もう一回したほうがいいのかも、皆さんが納得した方向に向かえるように工夫されるといいんじゃないかなと思いました。

○委員長 ありがとうございます。

確かに言うは易しの部分があって、市民の方一人一人が正しい理解をした上で正しい選択肢を選べ

るように、分かりやすい言葉で現状を知らせてという非常に難しい作業は作業なのだと思います。ただ、こういった形で検討を進めるに当たって、市民意見をいかに取り込むかというのは避けて通れない話なので、どういった形でやったらいいのかということをご希望の御意見を頂きながら進めていきたいなと思います。

それから、今ちょっと御意見にもあったかと思いますが、アンケート1回ぼっきりで全て決めていいのかというのは、確かにそれはあるのだと思います。今日、傍聴の方もたくさんおいでですが、傍聴されている方もそうですし、あるいは現場の方、それはセンターなり調理場の方も含めて、一般市民の方でも結構ですし、もしかしたらそういった意見を何らかの形で吸い上げる機会というものもあってもいいかもしれない。ただ、申し上げましたように、トータル的なアンケートというのは、やっぱり1回は避けて通れない部分だと思いますので、その辺で皆様方の御意見があればお聞かせいただければと思います。

○委員 私、このアンケートについて考えていることなのですが、まずアンケートをどなたが作るのかなというのがありまして、このアンケートを作るときにはバランスが大事かなと思っていて。事務局はどちらかというと、センター移行したいのかなと思っていて。センターの保護者の方たちに聞くのであれば、センター給食についての改善についても、意見として書き込めるようにしたらどうかと思っております。これ、今、桜台の話だけアンケートするような話なので、また、桜台の給食のあり方について、どうも何かセンター移行ありきの話にこの検討委員会になっていますけれども、桜台小中学校の給食の調理施設をいかにして残していくかという話合いの場だと私は認識しています。自校なのか親子方式なのかというふうに考えているのですが、どうも何か話がちょっと違うなというのがありまして、また、桜台小中学校の自校給食の魅力というものもあります。

財政面の話にすると、桜台地域の地域づくり、まちづくり、特色、魅力になっているのですよね。給食の現場では、教育として子供たちに食育を今栄養士の方、調理員の方たちが行っている状況です。その食育、教育の面からも見ていただきたいなというのがあります。先ほど話もありましたけれども、事前にどういった情報をアンケート対象者にお示しするのか、そこら辺がそれによって大分変わってしまうので、お金の話だけ、経費削減、効率化だけ言ってしまうと、どうしてもそれがいいよねとなるのですが、将来、未来を担う主体である子供たちのことを考えて、こういった食育をしていきたいという話になってくると、話が変わるなと思っております。そういった面で、アンケートをするときには、バランスを取ってお願いしたいと考えております。先生方が多いので、そこら辺は十分御承知だと思うのですが、よろしく願いいたします。以上です。

○委員長 今、委員のほうからお話がありましたが、アンケートを誰が作るかという問題につきましては、作るというか、誰がやるのか、実施するのは、これはこの当委員会が行うという理解を私はおしております。

それから、お言葉の中で、センター方式移行ありきのように見受けられると。見受けられるという個人の考えを否定はできないと思いますが、私は委員長としては、あくまでも中立というか、方向性については中立だと。選択肢は今後幾つかあるでしょうと、どれに行くかはこの場で決めると。基本的には、この場で考えを整理する場であるというふうに私は理解をしております。事務局は事務局で、変な話、多少の思いはあるかもしれませんが、私は委員長としては、決してコンプリートには考えておりませんので、その辺は御理解いただければと思います。

それと、アンケートの作り方は非常に難しいし、本当に先ほど来、私も非常に難しいと思うのですね。これは次の委員会で決めるのでしたっけ、予定では。アンケートの内容については。恐らく、本日の意見を踏まえて、事務局のほうでアンケートの骨子というか、素案を固めて、次の委員会で議論ということになるかと思えますけれども、会議の回数関係もあるので、できれば事前にメールで各委員にお示しいただいて、場合によっては、意見もその場で少し集約して、それで実際面談でこの場に集まったときには、お互い、どんなアンケート案が出て、それぞれどの委員がどんな意見を言ったかということで頭の中を整理してできるような形で準備していただければと。大丈夫ですよ、それは。それは、私のほうから事務局にお願いをしたいと思います。

ほかに、基本的な部分でアンケートの方法とか対象とか、内容は今申し上げたことで若干ペンディングになるかと思えますけれども、この辺について御意見がありますでしょうか。どんな方法でやるか、誰を対象にするか。

はい。

○委員 前回欠席したので、前回は議事録でしか拝見していないのですけれども、方法の中で、アンケート用紙の配布、聞き取りとかあるのですけれども、配布をして回答いただいた方から聞き取りをするのか、それとも、市民全体から、抽選でも何でもいいのでピックアップして個別に聞くのかとかいうのがちょっと分からないので、そこをはっきりしていただきたいのと。

対象なのですからけれども、前回の議事録と、個人の方を否定するつもりはないのですけれども、自校給食のよさで、桜台の回答でおいしいとか温かいとかあるのですけれども、自分の南山小学校の子供、おいしいと言って帰ってきます。だから、逆に言えば、自分たちから言えば、桜台中心のアンケートになっているのですよね、やっぱり同じ白井市民の中でも。

先ほども財政の面も出てきていたし、税金で言えば、自分たちも何か払って、同じ維持費を払って、修繕費も払う。そうすると、ほかの白井市民からすると、桜台だけお金がかかっていいのかとかという話にもなると思います。そういったところを市のほうで、これだけかかって、今後もこれだけかかる。で、センターにするとこれだけ、親子式とかで残すのであれば、これだけかかるというのをもう少し一般の市民というか、自分たちにも分かりやすいものを作って、その上でアンケートをやっていただきたいなと思います。反論するわけではないのですけれども、自校ならではの特色とか、子供の好きなメニューとかと言われると、同じ市民なのになどやっぱり思ってしまうので、そこは、桜台の方の意見もそうですし、桜台以外の方の意見も含めた上でのアンケートの作成をお願いしたいなと思っています。

子供たちの意見を聞いてあげてほしいなと思うので、子供たちが、センターになるか、自校式だというのは、そこまで興味はないと思います。実際にはおいしく食べられるのかとか、そういった簡単なことでもいいので、子供たちにも、自校式がおいしい、センター給食がおいしいというような、そういう子供たちの目線からのアンケートもぜひやっていただきたいなと思います。以上です。

○委員長 ありがとうございます。

ほかにございますか。

はい。

○委員 桜台小中学校でやっていただいたアンケートも、次回ぜひ見せていただきたいなと思いますので、よろしくをお願いします。

○委員長 ほかにございますか。

今、委員のほうから、子供たちの意見と、それから桜台地区のアンケート結果を聞きたいという話。これにつきましては、今回のアンケートで子供たちを対象としてやるのか、それとも、また別の形をもって、要するに大人向けといたしますか、一般市民向けのアンケートをやった上で、実際現場の子供たちが、学校給食ってどんなふうに捉えていて、どんなふうに思っているのかというのをまた別の機会で聞いてみるという方法もあるのかなと。一緒にしてしまうと、ちょっと混乱してしまうのかなと。

それと、桜台地区でアンケートをやられたという話は先ほどありましたけれども、それもどこかのタイミングで恐らく、当事者の方がお見えだと思いますので、後ほど発表していただいて、我々の調査ではこうなっていますよということを御意見として賜る機会が必要なのかなというふうに思っております。

ほかにありますか。

○委員 今日、桜台小学校と中学校の給食室、それからセンターの調理場も見学させていただいて、最初はセンターを見たので、最新の設備ですし、きれいですし、絶対心配はないだろうなど。その後、小学校、中学校の調理場を見せていただいて、確かに部屋や機械は古くなっているのですけれども、とてもきれいに使われていて、あとはやっぱり栄養士さんがとても親身で、例えば食事の仕上りの時間を気にして、逆算して作っていらっしゃったりとか、毎日子供たちの教室に行って食育をしてくださっていることというのがすごく印象に残りました。

委員さんの意見をいつも伺っていて思うのは、おいしいとかそういうことだけじゃなくて、やっぱり食育面ですごく心配していらっしゃるのかなと。私、今日お二人の栄養士さんともお話しして、もしセンター式に統合になっちゃったら、この栄養士さんはどうなっちゃうのかしらとか、それから、センターは今4人栄養士さんがいらっしゃるそうなのですがけれども、桜台がもし一緒になっちゃったときに、栄養士さんは増えて、その分がほかの小中学校に回ってもらえたりするのかしらとか、そういうことも考えまして。自分の中でもちょっとまとまっていないのですがけれども、食育面で上げていきたいということであれば、センター式に統一になっても、別の面で人とか、学校現場でお願いすることで、食育の成果を上げていくことができると思いますし。でも、やっぱり栄養士さんも減らされてしまって、センターの栄養士さんの負担が増えるようだったら、それは難しいと思いますし、そのあたりも含めて考えていただけると、子供基準で考えたときに、意見を言いやすいのかなと思えました。

だから、センターで出すか、給食室を続けるかということだけじゃなくて、例えば、給食室で作ることはなくなっちゃうけれども、栄養士さんはいて、指導にも入ってくれますよというふうになつたりすると、多分、桜台の保護者の方も気持ちは違うと思うのです。

なので、何かまとまらないのですがけれども、ここの部分はできなくなっちゃうけれども、ここは維持しますとか、そういうようなものがあれば、考えていきやすいのかなと思えました。まとまらずに。

○委員長 ありがとうございます。

恐らく、そういったものと、今年の秋とか、もう少し後になるのですかね、最終的な方向が見えてきたときに、桜台地区あるいは白井全体の市民の皆さんに、どういった結果説明をしていくのかというところに恐らく反映されてくる部分なのかなというふうに思います。今までと全く同じという、例えば全部センターにしましようといったときに、やっぱりそれは嫌だという人たちは当然いるわけな

ので、もっと進めろという人たちも、もしかするといえるかもしれない。

誰もがというのは難しいかもしれませんが、多くの方がある程度、市の考え方はそうだよと理解していただけるような、そういう政策の見せ方というのですかね。恐らく我々の中でも、要望を聞きながら整理をする必要があるのかなというふうに、結構ドラスティックな改革をする場合には、そういうことは必要なのかなというふうに思いましたけれども。

○委員 この検討委員会が立ち上げになるまでの経緯というものがあるのですよ。第1回目のときにそういう話がなかったのですけれども、今回、他の委員さんから話があって、その経緯を説明させていただきたいなと思っております。

給食センターを立ち上げる当時、もう数年前くらいから、ずっと検討委員会というのが開かれてまして、センター給食の中に桜台も含めるという話は一切なかったのですよね。一昨年の教育長からも、桜台小中の自校給食については継続しますという話はあったのですよ。一昨年、この話というか、桜台小中学校の移行という話が出てきて、保護者たちも突然出てきて、びっくりして、この給食の話が出てきて、去年、何回も夜中に会議を開いて、事務局の方とも話をしまして、一通り話を聞いていただいているのですよね。その保護者たちの思いとかというのもなくて、その話とかいうのもちょっと説明をお願いしたいなと。何のために検討委員会を立ち上げるまでに、お願いするまでに説明をさせていただいたのかというのが、全然この場ではないので、お願いしたいなと思っております。以上です。

○委員長 事務局のほうから、その辺何かありますか。

○事務局 事務局です。前回も、このあり方検討委員会を立ち上げるまでの経過について少し説明のほうはさせていただいたと思うのですが。一昨年度の財政推計の見直しと財政健全化の取組の中で、桜台小中学校の移行についてということの話が突然出てきたということでありましたが、その前に、桜台小中学校の学校給食のあり方について、検討の調査開始というものは、その前の計画「行政経営改革実施計画」のほうで出しておりました。当時の桜台小中学校の保護者の方々と説明会をさせていただいて、お話を聞いた上で、その中で、やはりこのまま強引に進めるのではなく、改めて検討していこうという話になりまして、それでこの検討委員会というのを立ち上げたという経緯があります。以上です。

○委員長 よろしいですか。

○委員 桜台小学校のPTA会長をしておりまして、桜台地区の保護者の方との意見交換会、あり方のほうにも出席をさせていただいております。また、PTA会長としまして、事務局のほうと意見交換会という形でも出席をさせていただいたわけなのですが、もともとは、このあり方検討会というのを、そういう、あり方を検討、考える会を設けますよというのが事前にあったのですね。あったのですが、一昨年、急遽、財政の関係から、桜台を統合したいのだというような教育委員会からの話が、教育委員会じゃなかったですね、ごめんなさい。財政のほうとか、いろいろと説明がありました。そのとき保護者も集まってお話を聞かせていただいたのですが、もうそのときは財政のことありきで、統合ありきの話があったのですね。

ちょうどタイミングも悪く、学校の教室のエアコンの時期ともダブリまして、保護者のほとんどの方は、エアコンをつけるから自校式がなくなるんじゃないかというような考えを持っている保護者も多々いたかと思うのです。また、それを説明いただいて、それは別物だよということでお話をいただ

いていたわけなのですが。

たしかそのとき、市としては17項目くらいの改善策といいますか、財政健全化の中でこういう取組をしていくというのが、多分17項目くらいあったかと思うのですが、その中の一つが桜台小中学校の自校式を移行するというものであったかと思うのです。

そういった流れがあって、その後、PTAのほうでアンケートを取ったりですとか、住民の方に意見を伺ったりですとか、いろいろしていく中で、結局、昨年、その前か、一昨年か、の12月のときに、教育委員会議の中で統合云々という話は決着がつかずに、もうそのレベルでの話ではなくて、もともとあったあり方検討会のほうで意見を集約しましょうよという流れがあったかと思うのですね。そういう流れがありました。

結果的に、地元でいろいろと話し合いをしていた方の意見も、この会議のほうで生かしてもらいたいという要望もありましたし、その中でも、委員さんのほうからも、地元の小中学校の保護者の方の意見聴取をする場も設けていただきたいというのも、前回意見があったかなと思っているのですが、そういった流れの中で、桜台にお住まいの方ですと、自校式を残したいという気持ちの方もやっぱりいらっしゃるのですね。中には、もう財政のことがあるから、しょうがないだろうねと考えている方もいらっしゃるのですけれども。お金のことだけじゃなくて、子供たちがどういう環境で食事が取れるのかというところで考えていただきたいなというふうに思っております。

先ほどのアンケートのところなのですけれども、やっぱり子供が実際に食べている中でどういうふうに感じているのかというデータを基に、保護者といいますか、大人の方に、その後大人の方のアンケートがいいんじゃないのかなというふうにも思っております。以上です。

○委員長 私は、すみません、第2回ここにお邪魔しているわけなので、過去の経緯というのも、そう詳しく承知しているわけではありませんが、前回配られた資料の中には過去の経緯というものが書かれていて、財政推計の見直しと財政健全化の取組で、その中で、桜台小中についてはセンターへ移行しますというふうに書いてあったと。その後、説明に入ったところ、いろいろな意見が出ましたと。PTAが行ったアンケート調査では、賛成・反対意見はこんな形でしたと。それらを踏まえて、令和3年度以降、当分の間は現状のままとしますと。で、改めて検討しましょうということを教育委員会議で決定したと。

さらに、平成30年の2月に策定された行政経営改革実施計画では、これについては検討を行いますと。安全で効率的な学校給食のあり方について、地域の意見等を踏まえた検討が必要となってくるとして、令和2年度を検討開始としたということで、これが恐らくこの検討委員会のオフィシャルな経緯だと思うのです。オフィシャルなというのは、一般市民に対して、あるいは市議会に対してもオープンにされた経緯だと思います。皆様のお気持ちの中で、あのとき、こう言ったじゃないとか、あのとき、そうだったじゃないというお気持ちは、それぞれあろうかと思えますけれども、一応議論を積み重ねてきた結果、市としてオフィシャルに示された経緯というのは、こういうことなのだと思います。それをやはり前提としていかないと、また元に戻ってしまうということだと、堂々巡りになってしまう可能性もありますから、その辺は、またいずれ、その辺の思いを込めた意見を伺う機会というのが恐らくあると思いますので、そのときに御発言いただければなというふうに思っております。

今、最後に、お子さんの御意見を先に聞こうという話がありました。これは、もしかしたら卵と鶏かもしれない。よく、どっちが先がいいのかと、いろんな御意見もあろうかと思えますけれども、検

討のスケジュール的なものもありますし、確かに子供さんの御意見を聞こうねというのは、恐らくどなたも反対されることではないと思うので、私もぜひ聞いてみたいというふうに思っております。ですから、それはどこかの段階でやるということで。先ほど申し上げたようなオフィシャルな検討スケジュールからいくと、この委員会を立ち上げて、1回目、2回目が終わって、3回目くらいでアンケートの内容を固めて、4回目でその結果を議論しましょうというような形に多分なっているということになると、一般の御意見を聞く場と併せて、子供たちがこんな意見を言っているというような集約の仕方をせざるを得ないのかなというふうに思いました、聞いていて。非常に大事なことだとは思いますが。

ほかに御意見ありますか。

はい。

○事務局 アンケートについて、少し補足させていただきたいなと思います。

給食センターが給食を提供している12校に、毎年2回、子供たちに給食アンケートを取っております。給食の温度についてとか、味についてとか、使っている食器の使い勝手とか、今までのアンケート結果の内容をお示しすることはできます。桜台小中が同じ内容で取っているかどうかは聞いておりませんので、そこは独自に取っているかどうかは確認して、集計したものの内容というものはお示しすることはできます。

先ほどの御意見を聞いていて、前回の説明会等でのやり取りの中でもあったと思うのですが、あり方を一から検討するというのが、このあり方検討会の立場ではあるのですが、子供たちにそのあり方を問うのは、なかなか子供の発達段階に応じて、難しいのではないかという意見もそのとき出ているところで、給食に関するアンケートというのは、今言ったように取っているものをお示しすることと、あとは、桜台小中も含めて共通のものを取ることであれば、その内容を吟味して取るということは可能ではあると思います。

○委員長 学校現場のことを一番承知していると思いますが、教育委員会のほうからの御意見でございます。桜台小中も含めたアンケートも可能は可能ということですが、その辺のやり方については、やり方というか、やるかやらないかも含めて、それはまた、いずれかの段階で議論をさせていただきたいなと思います。

時間の関係もございしますが、ほかに御意見がある方、いらっしゃいますか。

はい。

○委員 今日、会議遅れまして申し訳ございませんでした。学校のほうで別な会議がありましたので遅れました。

私がここにいるのは、子供の声ではないですが、日々現場におりますので、子供たちに一番近いところで今、日々生活をしているということ、それと、これは私のこれまでの経緯で、たまたまそうだけなので、桜台中学校の給食も食べてまいりました。現在はセンターの給食をおいしく頂いております。両方の給食を食べている者だという、両方の給食を食べている子供たちを見てきたというところで、多分、私と、今日いませんけれども廣田校長のほうが、この委員に選出されているのではないかなと考えております。

子供の声と、あと食育という文言が先ほどから出ておりましたので、おいしい、温かい、そういうことももちろん大事なのですが、中学生だからこそ言えることかもしれないのですが、今年度、中学

生たちは、これは桜台も同じだと思うのですけれども、白井の学校給食、すごく感謝をしております。8月も給食を食べることができました。この夏休みという期間に給食を提供していただいた市、町というのは、県内でも余りないのではないかなと。我々学校を運営する身としても、給食を出していただけることによって、午後まで授業ができて、コロナの中で、授業時数の確保が非常に難しかったわけですが、学校経営も非常にお力を頂いたというふうに感謝をしております。我々がふだん子供たちにそういうことを話しているからかもしれないのですけれども、子供たちは、この白井市の給食、おいしいのはもちろんなのだけれども、このコロナの状況の中で毎日給食を出していただいた、そういうところで、自分たちは給食を食べて学校で勉強しているのだというふうにすごく感謝をしております。そういうことも伝えておくべきかなと思って、今マイクを取らせていただきました。

○委員長 ありがとうございます。

そろそろ時間の関係もありますので、整理をしたいと思っておりますけれども、まずアンケートの方法ということですが、現段階、今後のことはまた別として、一番最初にやる意見募集というのかアンケートについては、アンケートの紙を何らかの形で配って回収して行うというようなことでよろしいでしょうか。そのプラスアルファの聞き取り部分については、また後ほど考えてみるということで、それでよろしいですか。

それと、対象につきましても、先ほど来の話で、白井市民一般、全般というのですかね、を対象に行うということによろしいでしょうか。よろしいですか。

あと、内容。時期につきましては、会の運営の日程がありますので、ここに書いてあるとおり、7月に実施をして、10月の検討会で報告を受けるというようなスケジュールで進めると。

私が先ほど、ここでアンケートの中身について、非常に多岐にわたるところを分かりやすく市民誰にも分かるような文章表現で示して、答えを簡単にとりか、余りたくさん読まなくても書けるようなアンケートを事前に各委員に送付して意見を求めると言ったので、事務局は今、頭を抱えていると思います。私も行政に長くいた人間ですから、そういったアンケートがいかに難しいかというのは百も承知であります。

ただ、要するに、問題点を隅から隅までということではなくて、今抱えている現状と課題というものをコンパクトに整理をして、一般的な方に御理解いただいて、簡単に方向性について回答いただける、そして自由記述欄を作ってもいただいて、何か意見がある方には、そこに書いていただくというような方法しかないのかなというふうに思っております。

事前にお配りしてという、恐らく御覧になった方々は、これじゃ足りないから、あれも入れろ、これも入れろと、多分そういう御意見がたくさん出てくると思うのです。それはそれで、次の委員会でまた議論はさせていただきますけれども、その辺、分かりやすい形で事務局のほうで少し考えていただいて、こんな厚い国勢調査の調査票みたいなのを配っても、それは無理なので、ごくごく、せいぜい裏表くらいの形で、現状はこうで、こんなことを考えている、こんな議論をしていますと、皆さんどう思いますかというようなことを分かりやすく、それは事務局のほうで英知を絞って考えていただければと思います。

ほかにございますか。

はい。

○委員 すみません。市民とおっしゃっていましたが、約6万人対象なのですか。

○委員長 それは事務局、どう考えていますか。

○事務局 今、国勢調査という話もありましたが、6万人全員にとというのは、現実的ではないとは思っております。ただ、抽出となると、どういう層にとというのがあって、そこも含めて。

正直なところ、本当はアンケート案を今日示したかったのですが、おっしゃられるとおり、いろんな視点がやっぱり出てきてしまって、收拾がつかなくなってしまうというのが正直なところなので、そういうのも含めて、端的にこういう形が。先ほど、アンケートは、あり方検討会から発出するものだという御確認を委員長さん含めてしていただいたと思うので、この視点でのアンケートだろうというか、統計的に言えば、6万人のうち何パーセントか取れば、統計的には有意ということになると思うのですが、そういうのも含めて、この辺が取れば、意見としては聞いたということになるのだろうなというところで、正直、押さえていきたいなというふうには考えておりまして。なので、抽出です。

あと、3番の内容というところを、アンケートの中にも示している提示資料みたいな形で読み替えていただいて、今このようなものを示してありますが、この視点の資料も見たいとか、この視点のものも示しながらアンケートを取らなきゃいけないんじゃないかとか、そういうのもあれば、また御意見を頂ければ、アンケートを作るときの参考にさせていただきたいと思っております。

○委員 時間が押している中で申し訳ありません。アンケートのやり方なので、ランダムに抽出するのであれば、広報しろいを活用して、QRコードを載せていただいて、スマホで簡単にできるようにしていただければ、多くの方も見ますし、簡単に回答できて、紙面とかも要らないですし、経費削減にもなりますし、いろいろな方の声が聞こえると思うので、ぜひ広報しろいを活用していただいて、QRコードなどでやっていただければ、いろいろな方に見てもらえるんじゃないかなと思いますので、御検討をよろしくお願いします。

○委員長 一般的な世論調査の手法からすると、私も細かいことはよく分かりませんが、統計的に、住民基本台帳から対象者を抜き出してきて、先ほどのお話にもありましたけれども、人口の何パーセントくらいをやれば、おおむねの傾向は出るという調査手法もありますので、そういったところもちょっと。恐らく全世帯を対象にした調査というのは、集計も大変だし、余り意味がないのかなと。トレンドを見ればいいというだけであれば、やっぱり抽出で私はいんじゃないかなと思いますけれども、その辺も、次回のときのやつに提案をしていただければと思います。

ほかにございますか。

繰り返しになって大変恐縮ですけれども、事務局、相当頭を悩ますと思います。それぞれのお立場でいろんな考え方があろうかと思っておりますけれども、分かりやすくシンプルに傾向を示せるアンケートということで御理解を頂きたいと思っております。御意見は御意見として、たくさん出していただいてもかまいませんけれども、事務局もそれを踏まえた形で、ぜひ整理をしていただければと思います。

それで、先ほどの内容についての、こういったものについて、もっとこういったことも書いたほうがいいんじゃないかというような話もありましたが、その辺も御意見の中で書いていただければと思います。

ほかにも、この際、御意見等あれば、お願いいたします。

よろしいですか。

はい。

○委員 食育についてなのですけれども、今日、センターと桜台小中学校に行ってきて、栄養士の先生方がどのくらい授業、指導に関わっているのかとか、給食を見に巡回というのをやっているのかとか、そこら辺を教えていただきたいなど。多分、食育についてとなってしまうと、恐らく漠然とした、学校給食法のこういう目標でやっていますというくらいしか多分載らないのかなと思うので、具体的をお願いしたいなと思います。

○委員長 それは、アンケートの中でということですか。

○委員 アンケートの中で。

○事務局 意見として承ります。ただし、御存じのように、桜台小中には栄養士が常駐しています。センターには栄養士が全校分いるわけではありませんので、物理的に栄養士が給食を見回る回数というところ、この比較は単純にできません。学校栄養士はいませんが、給食指導には教員や養護教諭等も見て回っていますので、そういうことも加味して、一緒にお示しさせていただけたらなと思っています。以上です。

○委員長 ほかにございますか。

よろしいですか。

それでは、アンケートにつきましては、先ほど整理したような形で、次回、事前にお示しいただければというふうに思います。

以上で、本日の議事については終了いたしましたので、これ以降の事項については、事務局をお願いいたします。

○事務局 委員長には議事の進行を行っていただき、ありがとうございました。これより事務局が進行させていただきます。

7番、その他ですが、本日は、本当に長時間ありがとうございました。次回の開催日につきまして、6月中旬から下旬を予定しております。本来ですと、ここで次回の開催日を決めさせていただければと思っていたのですが、年度も変わることで、4月以降、改めて日程調整表を送らせていただきます。

また次回は、桜台小学校または中学校の給食の試食、そして、市の状況について、そして、このアンケート内容について議論をしていきたいと考えております。以上です。

続きまして、閉会に入らせていただきます。

○事務局 忌憚のない御意見をたくさん頂きまして、どうもありがとうございました。お忙しい中、本当にありがとうございました。

以上で、第2回白井市立桜台小学校・桜台中学校給食のあり方検討委員会を終わらせていただきます。本日はどうもありがとうございました。

午後4時30分 閉会